

あかりをつける・消す

- スイッチツマミを引くたびに、点灯状態が右図のように切り替わります。

全 灯 → 段調光 → 常夜灯 → 消 灯

メモ

・段調光は約70%の明るさです。

ご使用上に関するお知らせ

【器具自体の留意点】

- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 天井の材質や構造によっては、天井面が変色することがあります。
- LED、常夜灯におバツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LEDが点灯しない場合は、電源を切り、販売店、工事店、またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- 点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。
- スイッチツマミで消灯した場合、ホタルスイッチのランプ表示が消えます。

お手入れについて

- 明るく安全に使用していただくため、定期的(6カ月に1回程度)に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

仕様

品番	使用電圧	周波数	消費電力		入力電流
AH46825L	AC100 V	50/60Hz共用	36W	常夜灯のみ 約1W	0.37A
AH46826L			30W		0.31A

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。) 光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。
(ご贈答品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼にならない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。)

製品・お取り扱いなどのご相談は

お客様相談室

ナビダイヤル
(全国共通番号) 電話 0570-055123
受付時間：9:00～17:30
受付時間：9:00～17:30
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

- ナビダイヤルにかからない場合は、お客様相談室☎072-986-5081にお電話願います。
- ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。(2015年8月現在)

愛情点検

★長年ご使用の照明器具の点検を！



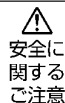
ご使用の際
このような
症状は
ありませんか

- スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。
- プラグ、コード、本体を動かすと点滅する。
- プラグ、コード、本体などが異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- コードに傷や痛みが見られる。
- グローブ、セードなどにひびが見られる。



ご使用
中 止

故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、必ず販売店に点検、修理を依頼してください。



安全に
関する
ご注意

- 照明器具及び関連機器には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。(周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合)
- 周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

保証とアフターサービスについて

保証について

- ・この照明器具の保証期間は、製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。
- ・ランプ(LED電球含む)、グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。
- ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- ・取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間中に故障した場合に無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき

- ・ご使用中に異常が生じた場合は、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。
- ・ご贈答品やご転居などでお買い上げの販売店(工事店)にご相談できない場合や、アフターサービスに関するご相談、ご不明点は、「お客様相談窓口のご案内」各窓口までお問い合わせください。

コイズミ照明株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7

AH46825L - T3A1

N1216 - 010518

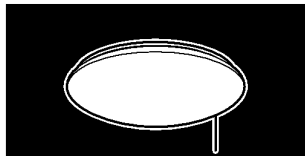
KOIZUMI

取扱説明書

住宅用照明器具 (シーリングライト)

保管用

施工説明付き



品番 AH46825L AH46826L

お客様へ

このたびは、コイズミ照明製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。ご使用前に「安全上のご注意」(1～2 ページ)を必ずお読みください。この取扱説明書は大切に保管してください。

工事店様へ

この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

- お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



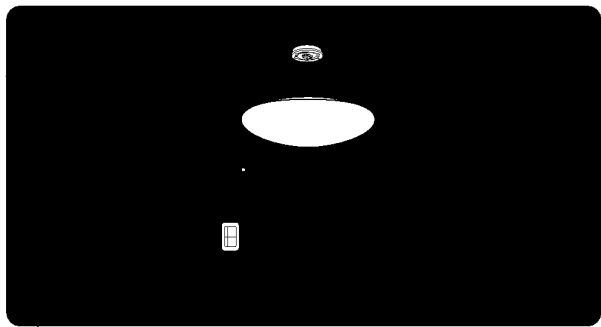
してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



必ず守る

- 必ず上図のような平面部の直径が780 mm 以上の天井に取り付ける落下によるけがのおそれがあります。

- 凹凸のある場所に取り付けけない落下によるけがのおそれがあります。



- 補強のない場所 (ベニヤ板や石こうボードなど) に取り付けけない落下によるけがのおそれがあります。

- 傾斜した場所に取り付けけない火災、落下によるけがのおそれがあります。

◎この器具は水平天井至取り付け専用です。



禁止

- がたついたり、破損している配線器具 (ローゼット・引掛シーリング) には取り付けけない火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



- 適正な状態にない配線器具には無理に取り付けけない落下によるけがのおそれがあります。

内装材の重ね貼りなどにより出しろが小さくなったもの



斜めに取り付けられたもの

シーリングハンガーが取り付けられたもの



ケースウェイに取り付けられたもの

電源端子露出タイプ



安全上のご注意 必ずお守りください

警告

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、
一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。

必ず守る

◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
(取り外しには資格が必要です。)

●器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれ
があります。

分解禁止

●異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店
またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

必ず守る

●交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電の
おそれがあります。

●スイッチ操作のひもなどに無理な力を
かけない
落下によるけがのおそれがあります。
◎引きひもにぶらさがったりしないでください。

禁止

●アダプタは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

●本体は確実に取り付ける
破損して感電のおそれがあります。

●本体が簡単に回転しないことを確認して
からカバーを取り付ける
破損して感電のおそれがあります。

必ず守る

注意

●照明器具には寿命があります。
設置して8～10年経つと、外観に異常が
なくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください

3年に1回は、工事店などの専門家による
点検をお受けください。
点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、
発火、感電などに至るおそれがあります。

必ず守る

●付属の梱包材は取り除いて使用する
そのまま使用すると、火災の原因と
なります。

●カバーは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

●点灯中や消灯直後はLEDやその周辺に
さわらない
やけどの原因となることがあります。
◎お手入れは電源を切り、LEDやその周辺が
冷めてから行ってください。

接触禁止

●浴室など湿気の多い場所や屋外で
使用しない
火災、感電の原因となることがあります。
◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

水ぬれ禁止

●温度の高くなるものを器具の真下に
置かない
火災の原因となることがあります。
◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

●カバーを外した状態で点灯したLEDを
長時間直視しない
目の痛みの原因となることがあります。

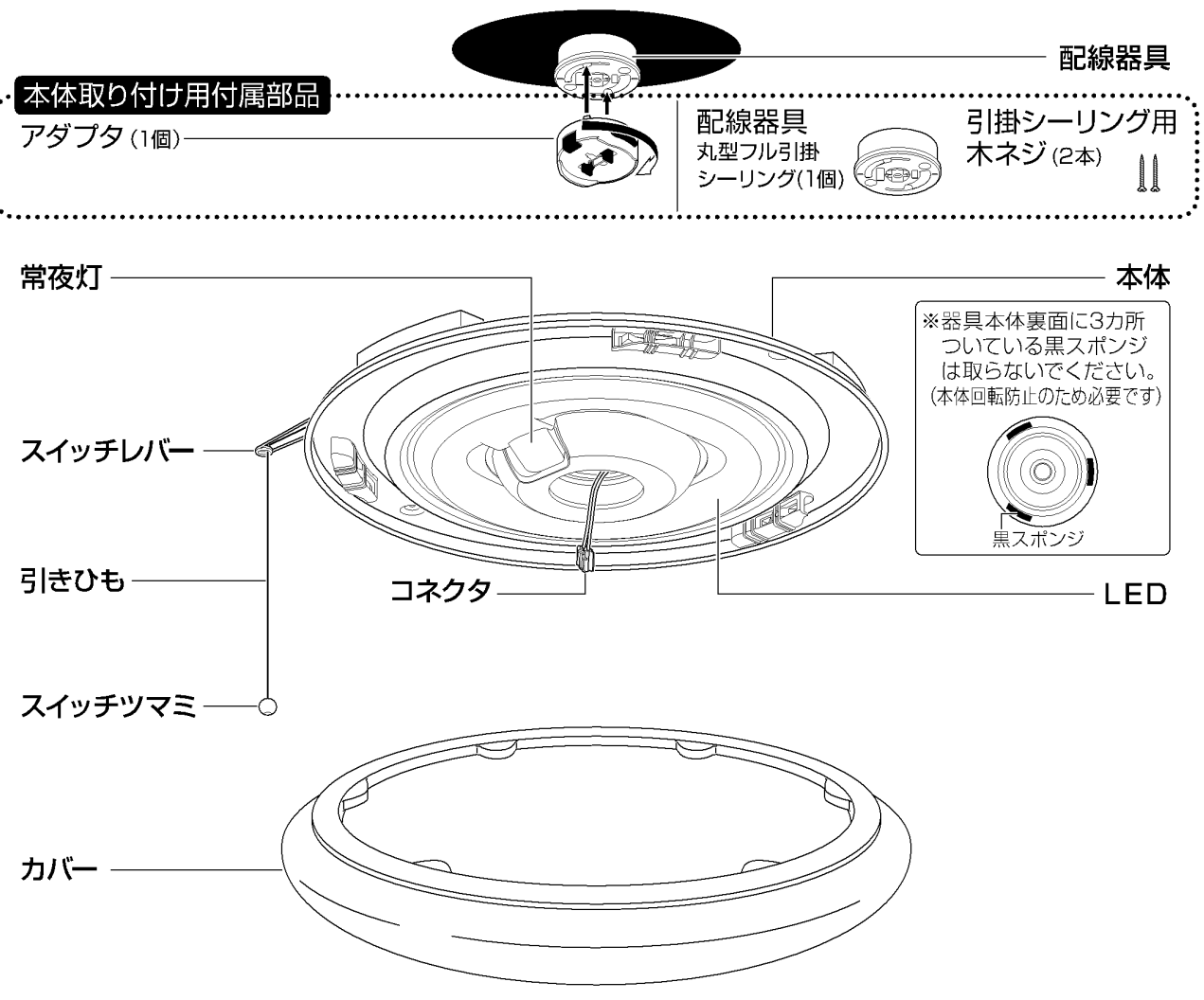
禁止

各部のなまえと付属部品

照明器具

施工前のご確認事項

・ほたるスイッチと接続する場合は器具1台につきスイッチ3個までで使用ください。
(4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯しないことがあります。)



照明器具を取り付ける

1 天井についている配線器具を確認する

天井に右記のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

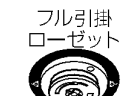
→ 2 の作業へ進んでください。

右記以外の配線器具の場合、または、配線器具が設置されていない場合は取り付けできません。

◎販売店、工事に配線器具の取り替え、取り付けをご依頼ください。

※工事には資格が必要です。

天井からの出しろが
22 mm の配線器具



天井からの出しろが
11 mm の配線器具



2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける

① 位置を合わせる

引掛刃 (2カ所) を配線器具のスライド穴に入れる

② カチッと音がするまで

アダプタを右に回して取り付ける

確認

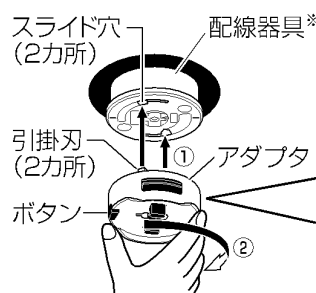
ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する



警告

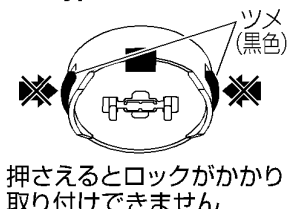


アダプタは確実に取り付け落下してけがのおそれがあります。



※: 代表例を表示しています

× アダプタのツメ (黒色) を押さえないこと



3 アダプタに本体を押し上げて取り付ける

アダプタに本体の穴を合わせて押し上げる

※配線器具により本体の取付位置が異なります。右記を参考に押し上げてください。

※器具裏面の黒スポンジは取り外さないでください。本体の固定ができなくなり簡単に回転します。

確認

本体を押し上げてもアダプタに取り付かない場合は、アダプタが正しく取り付けられていません。

→ 取り付けできない場合は、

(1) アダプタを外す

◎ 次ページ「照明器具を取り外す」手順 参照

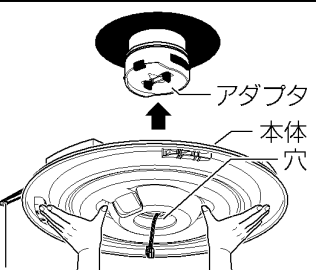
(2) 再度、手順 2 を行う



警告



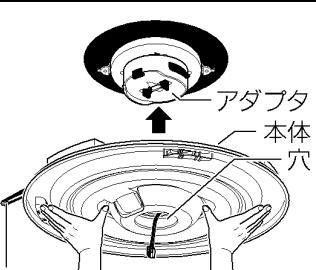
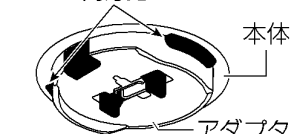
本体は確実に取り付け破損して感電のおそれがあります。



カチッ、カチッと
2度、音がするまで
押し上げる

アダプタの本体取り付け位置

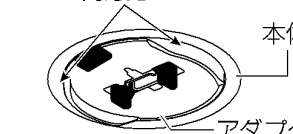
アダプタのツメ (黒色) が
両方見える



カチッと1度、音が
するまで押し上げる

アダプタの本体取り付け位置

アダプタのツメ (黒色) が
両方見えない



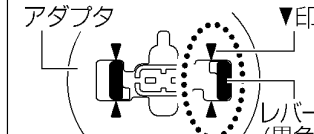
4 本体が正しく取り付けられているか確認する

× 本体がグラグラする

× 本体が簡単に回転する



× アダプタの▽印とレバーの位置がずれている

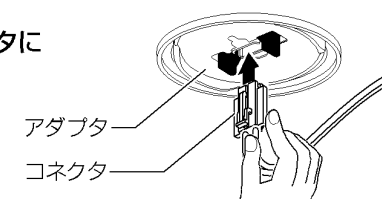


上図の場合、正しく取り付けされていないので再度、手順 3 を行ってください。

5 コネクタをアダプタに差し込む

① 本体がグラグラしていないか、簡単に回転しないか確認する

② コネクタをアダプタに確実に差し込む



確認

● コネクタが差し込めない場合は、本体が正しく取り付けられていません。

→ 差し込めない場合は、前ページ手順 3 に戻る。

● 引っ張って、コネクタが外れないことを確認する。

● 本体がグラグラしている状態や簡単に回転する状態でコネクタを差し込んだ場合は、コネクタを外して (◎ 下記「照明器具を取り外す」手順 参照) 本体を押し上げる (◎ 前ページ手順 3 参照)

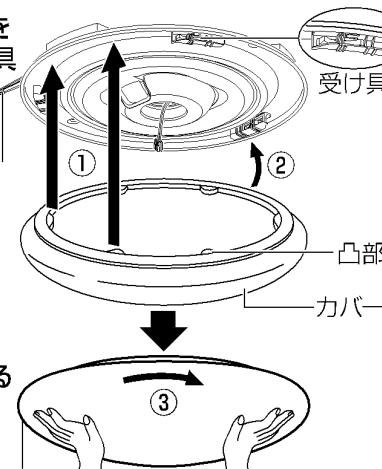
6 カバーを取り付ける

① カバーの凸部2カ所を本体の受け具と受け具の間に合わせる

② カバーを持ち上げる

③ カバーを回転が止まるまで右に回す (回転角度は、最大で約50度)

④ カバーが右に回転しないことを確認する



確認

● カバーが1回転しても取り付けできない場合は、本体が正しく取り付けられていません。

→ 取り付けできない場合は、

(1) コネクタを外す (◎ 下記「照明器具を取り外す」手順 参照)

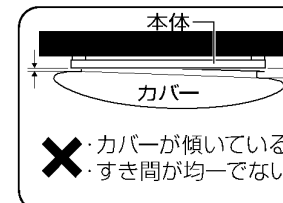
(2) 本体を押し上げる (◎ 前ページ 手順 3 参照)

(3) コネクタを差し込む (◎ 上記 手順 5 参照)

(4) 再度、手順 6 を行う

● カバーが傾いていないか、すき間が均一になっているか確認する。
→ カバーが傾いたり、すき間が均一でない場合は、カバーの凸部が受け具にはまっていない可能性があります。

カバーを左に回して外し、再度、手順 6 を行う



× カバーが傾いている
すき間が均一でない



警告



本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付ける破損して感電のおそれがあります。



注意

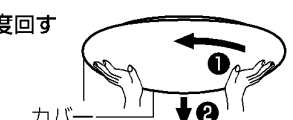


カバーは確実に取り付け落下してけがのおそれがあります。

カバーの外しかた

① カバーを左に約20度回す

② カバーを外す



確認

カバーが1回転しても取り外せない場合は、本体が正しく取り付けられていません。

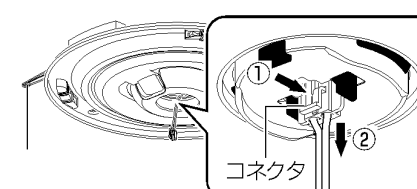
→ 取り外せない場合は、本体を押さえながらカバーのみを左に回して外し本体を正しく取り付ける

◎ 左記 確認 手順 (1) ~ (3) 参照

照明器具を取り外す

コネクタを外す

① つまみながら
② 引いて、外す



本体を外す

① 本体が落ちないようにしっかりと支え
② レバーを矢印の方向 (左右) に広げたま
③ 本体をゆっくりと下げて、外す



アダプタを外す

① ボタンを押しながら
② 左に回す

